

科目名	情報と社会		担当教員	高橋 友和、深井 隆司	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	EI2INA310
期待される学修成果	社会事情に対応する応用力、情報の分析に関する力、				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験	会社経営・塾長・航空会社（パイロット）・コンサルタント・講演(社会学)【深井隆司】				
実務経験を生かした授業内容	IT関連会社における実務経験を生かし、これからの情報社会の在り方等に関する講義を行う。				
到達目標及びテーマ	社会における情報の役割を理解し、説明できる。目標は主に、基礎教養・情報収集分析に関する力・コミュニケーション能力・態度の4点を重要テーマとします。				
授業の概要	前半の第1回から第8回（担当：高橋）は、情報と社会のかかわりやその歴史、現代社会の発展に大きく貢献した情報技術の中から代表的なものをいくつか解説し、データ駆動型社会、AIと社会について概説する。後半の第9回から第15回（担当：深井）は、実際にIT関連の業務に取り組みされている企業の方を講師としてお招きし、これからの情報社会の在り方等に関して、ご講義いただく。				

授業計画	
第1回	<第1部> 情報とは何か？【担当：高橋】
第2回	<第1部> 情報通信技術の歴史【担当：高橋】
第3回	<第1部> 誤り訂正（伝言ゲームが失敗するのはなぜか）【担当：高橋】
第4回	<第1部> 情報圧縮（旅行かばんに大量の衣服を詰め込む）【担当：高橋】
第5回	<第1部> 暗号と署名（遠くの人とヒソヒソ話をする）【担当：高橋】
第6回	<第1部> ウェブ検索（干し草から針を探す）【担当：高橋】
第7回	<第1部> データ駆動型社会【担当：高橋】
第8回	<第1部> AIと社会【担当：高橋】
第9回	<第2部> 本来のIT（情報通信技術）の在り方【担当：深井】
第10回	<第2部> 0と1で何ができるかを考える【担当：深井】
第11回	<第2部> 情報社会と我々の立ち位置を考える【担当：深井】
第12回	<第2部> DX（デジタルトランスフォーメーション）を考える（基礎編）【担当：深井】
第13回	<第2部> DX（デジタルトランスフォーメーション）を考える（応用編）【担当：深井】
第14回	<第2部> これから目指す情報の在り方（事例と今後）【担当：深井】
第15回	<第2部> 今後予想される情報社会とは【担当：深井】

事前学修	2時間	各回の授業計画に示されているキーワードについて調査する（第1回～第15回）
事後学修	2時間	各回の授業内容をまとめる（第1回～第15回）
フィードバックの方法	授業内でレポートの解説を行う	

補足事項	授業前半の1回から8回迄の講義は、高橋教授による学術的講義があります。この講義内容が基礎となり、後半講義第9回から15回迄の講義が形成されています。前半の講義の理解度を確保して頂くことが後半の講義の理解度も高まると考えます【深井隆司】
------	---

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
特になし	なし	なし	なし	なし
参考資料	特になし			

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	100%	授業内容の理解度を評価する
定期試験	0%	実施しない